

第3部会のまとめ

1 目標と基本的な視点

(1) 目標

地域における多様なつながりの中で、心豊かで自立心を持った「次代を担う人」を育むまち

(2) 基本的な視点

すべての子どもへの切れ目のない成長・学びの支援

子どもの成長・発達をライフステージに応じて切れ目なく支え、すべての子どもの健やかな育ち、学びと自立を支援するまちづくりを進める。

すべての子育て家庭が安心して子育てができるよう、仕事と家庭(子育て)の両立を支援する環境づくりを進める。

子どもたちの「生きる力」である「確かな学力」、「豊かな心」、「健康な心身」を育み、調和の取れた人間形成を目指した、質の高い教育を推進する。

地域の子育て力・教育力・文化力の創造とつながり

区民が、地域のもつ豊かな子育て力・教育力・文化力を、子どもたちのために生かすという考えに立ち、さらなる子育て力・教育力・文化力を地域のネットワークにより創造し、発信する。

誰もが互いを尊重し、生涯にわたり人の成長と学びにかかわり合い・学び合い・支え合う中で喜びを感じ、その成果を循環・継承していく地域社会を構築する。

2 政策の基本的な方向

(1) すべての子どもへの良質な成育環境を整え、地域全体で子どもの育ちと子育て家庭を応援するまちをつくる

すべての子育て家庭が、子育ての楽しさや喜びを実感しながら、孤立せずに安心して子育てができるよう、悩みを相談したり話し合える場を設けるなど、地域で子育て・子育てを支え合う仕組みづくりを進める。

幼保一体化を含む保育施策や放課後児童対策の拡充を図るなど、働きな

がら安心して子どもを産み育てることのできる環境をつくる。
子どもを虐待から守るとともに、特に支援を必要とする子どもや家庭に対する支援を進め、子育てセーフティネットを整備する。
子どもが社会とのかかわりを自覚しながら健やかに成長できるよう、青少年の自立を促し社会参画を推進する。

(2) 一人ひとりの子どもの成長を支える、より質の高い学校教育を推進する

子どもの成長・発達段階に応じ、順序立てた学習指導を行い、「知・徳・体」の調和の取れた人間形成を目指し、基礎基本を重視した「学びの連続性を重視した教育」を推進する。

一人ひとりの子どもの心身の成長・発達や教育ニーズに即した、きめ細かな教育を推進する。

子どもの生きる力を培うため、世代間や異文化の交流、ボランティア活動など、さまざまな人とかかわりを各学校の特色ある教育活動に積極的に採り入れ、コミュニケーション能力を高める取組を推進する。

子育て・教育・文化など地域の力をもとに、地域の絆をつなぎ、子どもたちの豊かな学びを地域とともに支える学校教育を推進する。

(3) 家庭、地域、学校の連携・協働を進め、子どもたちの心豊かな成長を支援する

区民一人ひとりが、社会の構成員を育てる教育の当事者であるという考えのもと、地域の中での子育て力、教育力を一層高める。

地域の人々が子どもたちとかかわりを持つことで、共に育つ喜びを感じ、その取組や成果が広まり、継続・循環していく「知の循環型社会」を構築する。

子育て力・教育力・文化力を育み、地域コミュニティの核として機能する地域の新しい公共空間としての学校づくりを目指す。

(4) 誰もが生涯にわたり、世代や性別、国を超えた様々な人々とかかわりの中で、意欲的に学び、文化・スポーツに親しみ、その学習・活動成果の社会的活用と区内外への文化発信が図れるまちをつくる。

生活を営む身近な地域で、区民一人ひとりが、自己実現や身近な課題の解決に向けて学ぶとともに、区民相互に学び合い、交流し、高め合う生涯学習社会を築く。

さまざまな社会経験を積んだ高齢者や専門技術・技能等をもつ区民など、潜在的な地域の力を発掘し、伝統の継承と新しい創造への支援のための仕組みを通して、地域で育つ子どもたちへの豊かな文化環境づくりを進める。

人権が尊重される男女共同参画社会の実現を目指し、ワーク・ライフ・バラ

ンスに配慮した社会環境づくりを進めるとともに、人々の豊かな生活と活動の基礎となる平和な社会に向けた取組を推進する。
グローバル社会の進展を踏まえ、日本の伝統と文化の理解を深めるとともに、多様な文化との共存を促進し、共生社会を築いていく。

3 戦略的・重点的な取組の方向性

(1) 社会環境や区民ニーズの変化に対応した地域子育て支援の充実

子どもの年齢や家庭の状況に応じて必要な支援を切れ目なく受けられるよう、子どもと子育てに係る公共施設の配置基準・ネットワークの見直しを行いながら、地域における子育て支援の拠点・サービスの充実を図り、子育てにやさしい地域社会づくりを推進する。

(2) 子どもの「学びの連続性」を重視し、その成長・発達をきめ細かく支える教育の推進

すべての子どもの心身の成長を支え、社会を構成する一員として、自信をもって自らの人生を切り拓いていけるようにするため、学びの連続性を重視した教育を推進する。

一人ひとりの子どもの学力・体力を高めるため、教師の力量形成を図り、基礎基本を大切にされたきめ細かな学習指導を行うとともに、障害のある子どもの発達状況や教育ニーズに応じ、適切な教育的支援を行う。

(3) 家庭・地域・学校の連携・協働のさらなる推進

子どもの成長・発達の過程には、家庭、地域、学校それぞれの役割と責任があり、お互いの力の連携・協働の仕組みのさらなる拡充に取り組む。

(4) 生涯学習・スポーツ、文化・芸術活動の基盤・環境整備

質の高い豊かな区民生活を教育・文化の側面から支えていくことが必要となるため、杉並に暮らし、集う全ての人々の学びと活動・創造・発信の場として、生涯学習・スポーツや文化・芸術活動の基盤と環境の整備を進める。

広く文化に関する提言を受け、文化にかかわる情報の収集・整理・発信などを行いながら、文化政策ビジョンを積極的に打ち出す。

4 全体に共通する事項

重点政策には目標を設定し、行政と区民とが協働で、到達度をチェックするシステムを構築する。

第3部会の審議状況について

	開催日時	主な議事
第1回	4月18日(月) 15:00～17:00	部会の役割・進め方についての確認 検討テーマに関する意見交換
第2回	4月26日(火) 15:15～17:00	検討テーマに関する意見交換(再整理)
第3回	5月17日(火) 18:00～20:00	「学齡期以降」と「地域の力」に焦点を当てた議論
第4回	5月27日(金) 15:00～17:00	「子育て・子育て」と「地域の力」に焦点を当てた議論
第5回	6月21日(火) 18:00～	部会議論のまとめ